

Web動画運用基礎

Web動画とは？

Web動画

YouTubeなどの動画共有サイトからTwitterなどのソーシャルメディアサービスに至るまで、ウェブ上で観られる動画をWeb（ウェブ）動画といいます。

主なWeb動画



YouTube（ユーチューブ）



TikTok（ティックトック）



Vimeo（ヴィメオ）



IGTV（アイジーティービー）



ミクチャ
旧名称MixChannel
（ミックスチャンネル）

Webデザイナーが知っておきたい動画の知識とは？

動画クリエイターというお仕事をするわけではなく、Webデザイナーという立場で、映像にどう関わっていくのか？
昨今ではこれも難しい立場にあるかもしれません。ひと昔ならSNSで動画配信をするなら100万円ぐらい先行投資として、機材や教材を購入して学ぶ必要がありましたが、最近ではスマートフォン一つあれば配信できます。
では、Webデザイナーは動画コンテンツに対してどのように知識が必要か考えてみましょう。

Webデザイナーが意識しておくポイントは3つ

- ・5G (ジェネレーション) による動画コンテンツの需要の変化
- ・短い動画によるプロモーション活動について
- ・Web 1.0 Web 2.0 Web 3.0 について

5Gによるコンテンツの需要の変化

そもそも5GのGはジェネレーション

- ・1G…1980年代に登場したアナログ携帯電話
- ・2G…1990年代、通信がアナログからデジタルに移行し、インターネットへの接続が始まった
- ・3G…2000年代、通信の高速化が可能になりモバイル機器でのインターネット接続が一般化
- ・4G…2010年代、LTEという高速化技術とスマートフォンの台頭で生活やビジネスの利便性が向上
- ・**5G…2020年～**
 - ①高速で大きな容量の通信ができること
 - ②信頼性が高く低遅延の通信ができること
 - ③多数の機器に同時に接続ができること

5Gによる生活環境の変化

5Gによる生活環境の変化は今後の動向を見ていく必要がありますが、既に体感できている環境として、どこでも映像を見ることが出来る。Webデザイナーなら、Webサイトに動画を埋め込む事に抵抗が少なくなっている事でしょう。

参考サイト

<https://www.cross-c.co.jp/column/business/688/>

短い動画によるプロモーション活動について

動画プロモーションとは？

単純に「動画を活用して広告宣伝活動をおこなうこと」です。要するにTVCM(テレビコマーシャル)の代わりと考えると解り易いかもかもしれません。

実際に様々な動画を見て頂くのが一番早いですが縦長で見る15秒~1分ぐらいの動画の事です。

動画コンテンツの魅力とは？

“文字を読んで理解する”など、観る人の能動的なアクションが求められる静止画と比べて、受動的な人にも届きやすいことから、近年、動画プロモーションを活用する企業が増えています。また、インターネットの普及によって視聴者にとって動画が身近な存在になったことも、動画プロモーションが増えている理由です。

参考サイト

<https://crevo.jp/video-square/usage/20190426/>

Web 1.0 Web2.0 Web3.0について

Web1.0: 1995年～2005年 (ホームページ時代)

Web1.0時代は「ホームページ時代」とも呼ばれており、Web1.0は1990年代半ばから2000年代半ばにかけて普及してきたインターネットやWebの総称と言われています。Web1.0の時代では情報の送り手・受け手が決まっていることを前提とした一方的な流れが可能であったものの、それ以上の機能は実現されていませんでした。またWi-fiが普及していなかったWeb1.0の時代はインターネットへの接続に速度の遅い電話回線が使われており、動画の再生や画像の表示には膨大な時間が費やされていたのです。

- ・企業や個人の「ホームページ」
- ・GoogleやYahooなどの「検索エンジン」
- ・電子メールを送信・受信するための「メール専用ソフト」

Web2.0: 2005年～2018年 (SNS時代)

Web2.0は「誰もがWebを介して情報発信ができるように変化したWeb」のことを指し、ネットワーク機能を持つ全てのデバイスに広がるプラットフォームでもあります。Web2.0の出現によってこれらのサービスが普及したことにより、多くのユーザーにとってネットワーク機能を持つ端末から情報を発信することが容易になりました。更にPCやスマートフォンの普及によって利用者が増加したことで、情報の量は莫大なものとなると同時に、質の高い情報社会が形成されてきたのです。

- ・LINEやInstagramなどの「SNS」
- ・インターネット上での情報発信が可能な「オンラインブログ」
- ・オンラインのクラウド上における「チャットツール」

Web3.0:2018年～(ブロックチェーン時代)

Web3.0は「権力分散型のネットワーク」を指し、次世代におけるインターネットとも言われています。Web3.0は近年世界中で注目を浴びており、「特定の企業に握られている個人の情報資産の分散化」を目的としたブロックチェーンの技術の活用が行われていることが特徴です。ブロックチェーンは仮想通貨などでも利用されるキーワードで、個人情報をそれぞれで管理する仕組みのことを指します。Web2.0は特定の企業が用意したサーバーなどに情報が集約されていましたが、Web3.0は個人のパソコンなどで情報が管理されるようになるのです。

Web3.0はどうなる？

- 分散化とブロックチェーンの利用
- 暗号通貨に対応
- 人工知能の利用

Web2.0の中央集権体制の企業 GAFMA (ガフマ) から、個人での情報共有の時代へ

GAFMA (ガフマ) は、
Google
Apple
Facebook
Microsoft
Amazon.com
の5社の頭文字をつないだ
造語(呼称)をいいます。

インターネットが生活に欠かせないものになった「Web2.0」時代には、大きな課題があります。それは、Google (Alphabet)、Apple、Facebook (Meta)、Amazonなどに世界中の個人情報が集中することで起こる、プライバシーの問題。そして、個人情報が特定企業のサーバーで集中管理されることにより、サイバー攻撃を受けやすいというセキュリティの問題です。それが、Web3.0では、ブロックチェーンの技術により、特定の管理者が居ない個人での情報共有が出来る時代に入っている。そこに向けて世界は今動いています。

様々な情報配信が個人でのビジネスとしてどうなっていくのか是非注目していきましょう!

就職活動に向けての ワンポイントアドバイス

動画コンテンツの編集をするだけではなく、Webコンテンツの一部として、WebデザイナーがWebに動画をコンテンツとして取り入れる事は、ますます増えていくでしょう。

まったく関係のない世界とは考えずに、そのコンテンツをどう活かすか、利用していくかを考えた。お仕事を探すのも有効な方法と考えてみましょう。

プロモーションの1つとして動画に関りを持つ仕事も視野に入れてみてください。

1. SNSは短い動画をどんどん取り入れている。
2. Webページへの掲載(埋め込み)は有効な施策
3. 時代は動画コンテンツをより快適にする方向へ向かっている

